

回線速度 改善事例

2021/02/01

ピコシステム株式会社

1. ご提案の背景

今回のご提案の背景

- ◎ 拠点間で、ソフト利用時に、音声と映像の大幅な遅延が発生。ネットワーク環境の改善を要望されている
- ◎ 現在の構成の劣化もあり、ネットワーク環境の抜本的な見直しを検討されている
- ◎ 極力コストは抑えて見直しを行いたい
- ◎ 回線切替(200M⇒1G)だけでは、改善が見られなかった

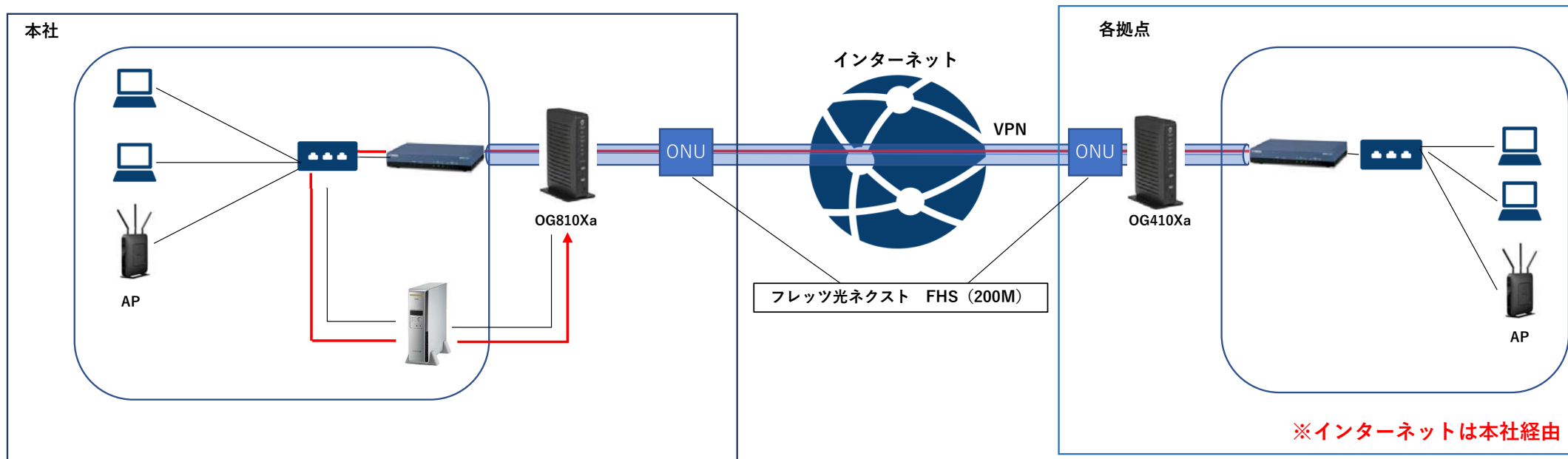
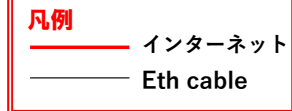
今回の主たるご提案内容

- (1) インターネットセキュリティの向上、及び一元管理
⇒各拠点にUTMの設置により、ご要望/ポリシーに応じたきめ細やかな各種設定が拠点単位で可能
- (2) 無線アクセスポイントやエンドポイントセキュリティを統合する事で、更なる一元管理が可能
- (3) 拠点毎に個別対応を行うことが可能
⇒速度改善が見られない拠点や、セキュリティリスクが伴う拠点は個別に各種対応を実施可能
- (4) 回線速度の大幅な改善
⇒回線をIPoE*1 (IPv4 over IPv6*2) 方式によるインターネットに変更
※ISPのサービスとして提供されるため、回線に纏わるランニングコストはそのまま変更可能

2.当初構成図

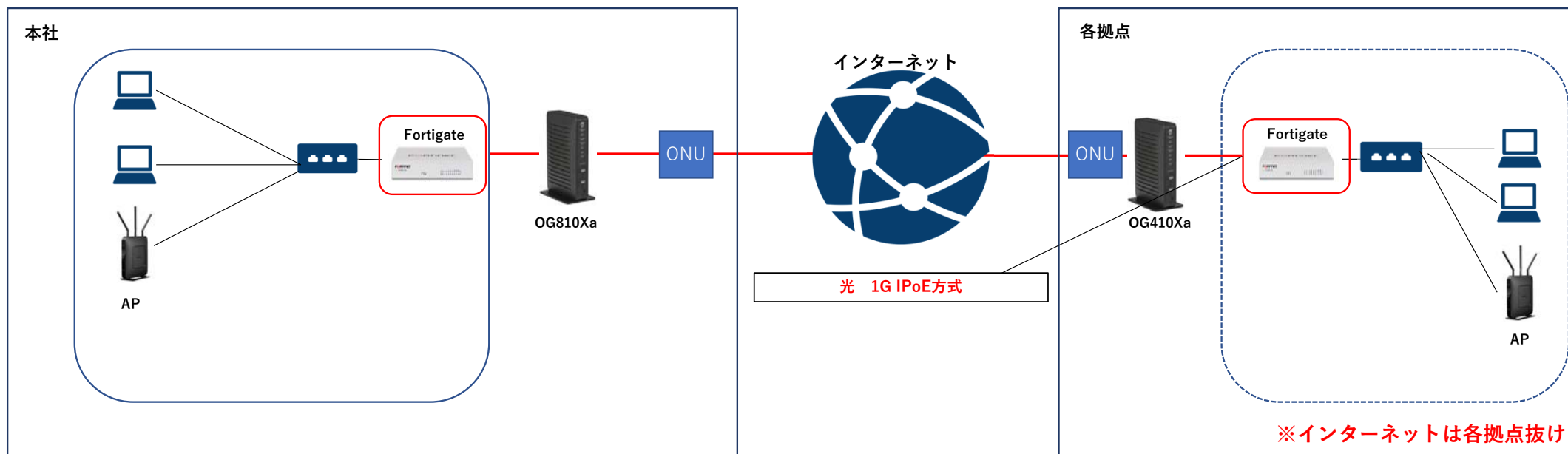
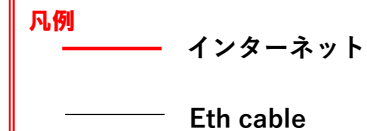
◆ 現状のネットワーク構成を記載する

- ・ 本社と拠点の構成
- ・ 各拠点はVPNを介して本社からインターネット接続している



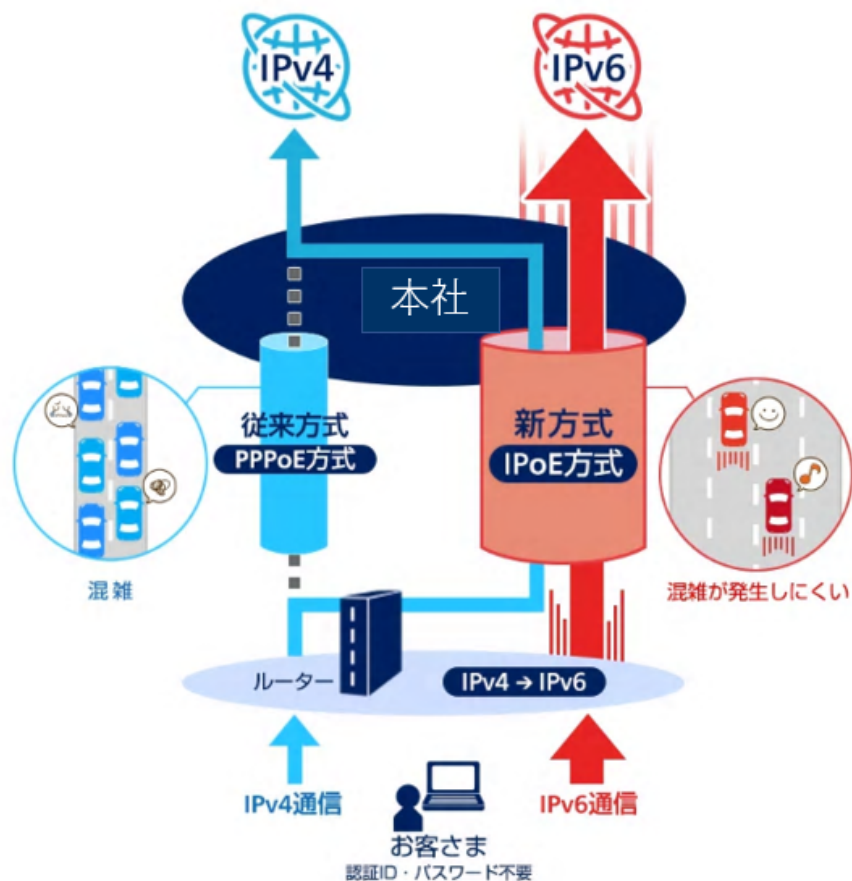
3. ご提案構成図

◎本社経由ではなく各拠点からインターネット接続を行う



4. IPoE方式について(説明資料抜粋)

| 接続イメージ

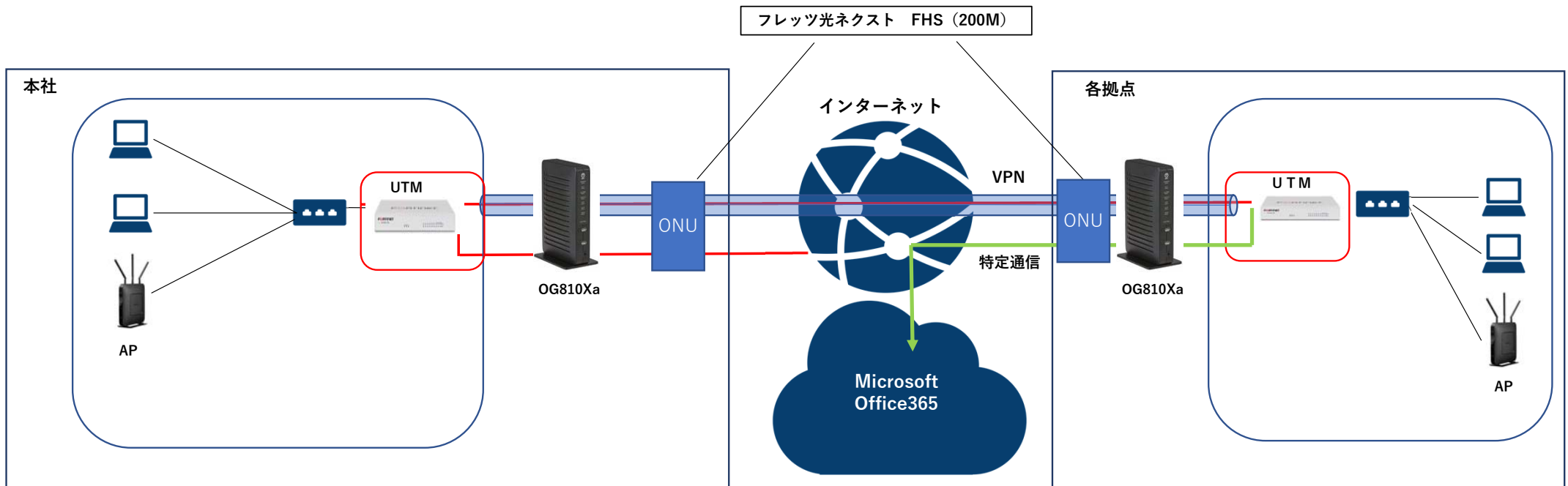


◆ NTTdocomo IPv6インターネット接続機能
ホームページ資料より 抜粋

5.ご参考(今回検証のみ実施)

インターネットブレイクアウト

- Office 365などクラウド提供されるサービスを各拠点で利用する際、すべての通信を本社経由で利用すると、ネットワークの混雑によって著しくパフォーマンスが落ち込んでしまうケースがある。そのため、Office365などの特定の通信はインターネットへのダイレクト接続（インターネットブレイクアウト）で対応する。

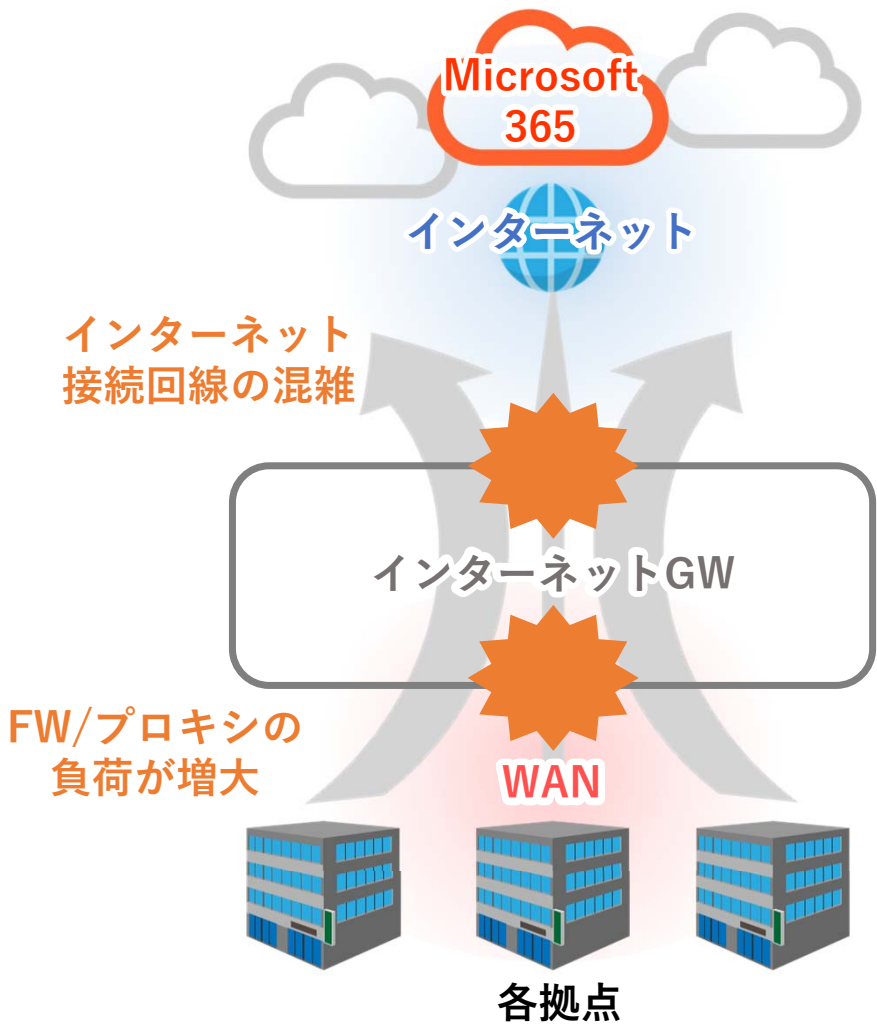


凡例

- インターネット
- ブレイクアウト
- Eth cable

一般的なインターネット接続

インターネットへの通信がセンター側へ集中



インターネットブレイクアウト

許可されたアプリケーションは拠点からインターネットへ直接接続

